

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 一般財団法人 操風会		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒703-8265 岡山市中区倉田567-1	
本票作成	部署名：事務部 業務管理課				
主たる業種	分類コード	83	業種名：医療業		
事業の概要	医療業				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山旭東病院		岡山市中区倉田567-1	
	②	岡山リハビリテーション病院		岡山市中区倉田503-1	
	③	高島西眼科		岡山市北区田中138-101	
	④	高島眼科		岡山市北区表町3-16-17	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 33 年度 ( 5 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満	
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○		
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 28 年度)					目標年度 (平成 33 年度)				
	5,410 t CO <sub>2</sub>					5,139 t CO <sub>2</sub>				
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (平成 28 年度) の排出量					
	①	岡山旭東病院			4,451 t CO <sub>2</sub>					
	②	岡山リハビリテーション病院			873 t CO <sub>2</sub>					
	③	高島西眼科			65 t CO <sub>2</sub>					
	④	高島眼科			21 t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	建物延べ床面積 (千m <sup>2</sup> ) 平成28年度 30.39		基準年度	目標年度
			178.019 t CO <sub>2</sub> / ( 千m <sup>2</sup> )	169.118 t CO <sub>2</sub> / ( 千m <sup>2</sup> )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 28 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ法による定期報告書、中長期計画書に基づき、年間1%×5年のエネルギー削減、温室効果ガスの削減を図る。一般財団法人操風会(事業者)全体の約83%のエネルギー使用を占める岡山旭東病院に重点をおいてハード面(エネルギー使用設備等の更新、省エネ設備の導入等)、ソフト面(エネルギー使用設備のメンテナンス、省エネパトロール等)の両輪で省エネに取り組む。CO<sub>2</sub>排出量はその大半が空調、照明、給湯設備、医療機器等の固定設備の為、延べ床面積を原単位基準とした。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

省エネ法に基づき、エネルギー管理統括者、エネルギー企画推進者、エネルギー管理員の選任。岡山旭東病院においては院内の様々な部門と連携し病院全体として省エネに取り組む体制を構築。エネルギー使用状況の情報発信。省エネ啓蒙活動強化。毎日の省エネパトロールの強化。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山旭東病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部コンサルによる省エネ診断実施</li> <li>・西館給湯設備12機中6機をブレーカー電源きり。これにより定格出力32.4KW削減。</li> <li>・設備機器管理台帳、機器点検表の整備、見直しによりエネルギー使用設備の詳細把握、効率の良い運用管理への見直し。</li> <li>・管理標準の整備により設備機器の安全、安全な運用への見直し。</li> </ul> 又、新設設備においては省エネ機器を選定する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度末着工。増改築工事に伴い既存改修エリアにおいては照明設備をLEDへ更新、空調設備を省エネ機器へ更新。</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山旭東病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度末着工。増改築工事に伴い新設増築エリアにおいては管理標準に基づき照明設備、空調設備を省エネ機器導入。</li> <li>・西館給湯設備において給湯器を3台省エネ機器へ変更。</li> <li>・空調、照明、給湯設備に重点を置き、管理標準に基づき入切、運用時間、設定温度等詳細に設定、遵守に向けて毎日の省エネパトロールの実施、強化。</li> <li>・PC上の院内観覧板に毎月の電気使用量、前年同月比の掲載。これにより、職員の省エネの意識を向上。啓蒙活動強化を図る。</li> <li>・今後導入設備は管理標準に順じて省エネ機器を選定する。</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

近年、エネルギー使用の大きな要因である患者様の延べ人数（入院、外来）が増加傾向にありますが、企業努力によりエネルギー使用量は一定のコントロールはできております。今後は毎年マイナス1%×5年に向けて、上記の予定しております措置の実施を計画性を持って行います。